

令和6年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 東和中 学校
校長氏名	中平滋之
作成日	令和 7年 3月12日

1 教育目標

人権尊重の精神を全教育活動の基盤として、心豊かな人間性、確かな学力、たくましく生きる力を持った生徒の育成

2 本年度の取組についての評価

	心豊かな人間性の育成	確かな学力の育成	たくましく生きる力の育成	地域とともにある学校づくり
指標	*学校が楽しいと感じる生徒90% *いじめ解消率100% *先生は力になってくれると感じる生徒90%	*授業に関する満足度90% *県学習到達度調査の正答率が県平均と同等以上	*必要なケース会議を積極的開催 *朝食摂取率90%及びスマートフォン使用時間昨年比減少 *スポーツ実施率週1回以上90%、週3回以上80%	*学校運営協議会委員による学校評価が概ね満足 *学校の様子がよく伝わったと思う保護者90%
重点目標【P】	◎人権・同和教育の推進 ◎道徳教育の充実 ◎学び合いの授業づくりの推進	◎学び合いの授業づくりの推進 ○言語活動の充実 ○家庭学習による基礎学力の定着	◎発達を支える指導の充実 ◎基本的生活習慣の確立 ○体力向上への取組 ○危険回避能力の育成	◎学校運営協議会の充実 ○地域の資源活用による協働 ○小中連携の充実 ○積極的な情報の発信
取組の状況【D】	・人権・同和特設授業を計画に基づき実施 ・道徳科は、全教員が担当 ・授業づくりにおける共同体感覚の育成が不十分	・全教員が全授業で実施 ・朝の読書活動を全校で実施 ・宿題を全校で実施	・ケース会議等による支援方策の共有 ・地域参画により作成の子育てプランによる啓発 ・「朝ラン」の実施 ・実効性のある避難訓練等実施、機会をとらえた啓発	・可能な限り学校を公開 ・地域の方による講演の実施 ・英語、数学、社会科の交流を実施 ・HPでの情報開示
取組の成果と課題（評価）【C】	・学校が楽しいと感じる生徒は93% 保護者は83% ・いじめについては解消している。 ・年度末アンケート実施による啓発と検証	・授業づくりの推進により学習環境が改善傾向 ・全国学力調査・県学習到達度調査とも全国平均を大きく下回る	・ケース会議を踏まえた支援を実施 ・朝食摂取率85.5% ・スポーツ実施率 週1回以上88.7% 週3回以上81%	・学校運営協議会の意見を反映 ・保護者への情報発信については一層の努力を要する
改善方法【A】 次年度に向けての	・人権・同和教育、道徳教育の充実 ・学び合いによる共同体感覚の育成 ・いじめの積極的認知と早期対応	・学び合いの授業づくり ・朝の読書活動の充実 ・家庭学習の促進を図る方策の検討	・子育てプランによる啓発の継続 ・食育計画の検討 ・防災訓練における地域との協働	・学校運営協議会の意見反映 ・積極的な情報発信の継続 ・防災訓練等を活用した地域との協働

3 その他の課題

- ・非認知能力の価値に気づき、その獲得に励む生徒の育成を前提とした評価についての研究の推進と実践
- ・地域や保護者の学習参加システムの構築
- ・生徒指導の充実